

5月臨時議会で議長選挙に立候補いたします、4月15日に会派の結成を致しました『富岳会』改め、『会派つなぐ』の佐野和彦です。

まず初めに、市民の皆様には4期目の議員活動及び議会活動を引き続き務めさせていただいていることに深い感謝を申し上げます。

諏訪部孝敏議長のもと、2年間副議長の任に就かせていただいた経験を元に議長選挙の立候補を決意し、所信を述べさせていただきます。

全国的に地方自治体は経済の低迷、人口減少、少子高齢化など多くの諸課題を抱えておりますが、我が富士宮市では問題解決に向け対策を講じ、地域経済の活性化を図り現在に至っています。

本年は第5次総合計画の最終年にあたり、次期総合計画に大きな期待を寄せているところですが、市民の意見が二分する議案には、市長をはじめ市当局としてしっかり意見や議論を交わし、市民の皆様が納得できるような富士宮市議会にしていきたいと思えます。

また、議会改革を進め、市民への情報発信の在り方として広報公聴機能の強化を目指していきたいと思えます。

そして、全国を見渡しても少ない部類に入る富士宮市議会の議員定数ですが、人口減少を鑑み、市議会議員選挙毎に議員定数が適正かどうかを考える場の礎を築いていきたいと思えます。

いずれも簡単にできることではございませんが、副議長をはじめ議員の皆様と力を合わせ取り組んでいきたいと思えます。

私たち富士宮市議会は、二代表制の一翼を担うとても重要な役割があることを念頭に置き、是々非々の覚悟を持ち、そのうえで公正で中立な立場で職務を遂行することを誓います。

そして、議員の皆様と共に、透明性と信頼を得られる民主的な開かれた議会運営を行い、その先の市民の皆様の笑顔のために、職務を全うする所存でございます。最後に、議員諸賢へ大きなご支援を頂けますよう申し上げ、議長選挙の所信表明といたします。

富士宮市議会は市民の笑顔のために。

令和7年5月9日

佐野和彦